

ミニシンポジウム開催のお知らせ

文学とジェンダー

日時:2018年10月31日(水)

午後2時～午後5時

場所:A15棟2階中会議室

2時～3時

『とりかへばや物語』の女君と男君

青木賜鶴子

平安時代の貴族のお話。女君と男君のきょうだいはどちらもたいそう美しかったのですが、女君は男の子のよう、男君は女の子のよう。困った父親は男女を入れ替えて育てます。父親の嘆きが、書名「とりかへばや」（取り替えない）の由来です。成長した二人の人生をたどりながら、その苦悩を探ります。



3時10分～4時10分

柳如是と錢謙益

—明末清初の愛の形—

大平桂一

柳如是は明末清初に活躍した有名な妓女です。彼女は普通の妓女と違って、船を利用してあちこち移動しながら長期に渡って身請け先を探すという存在でした。今回はこの柳如是と錢謙益との出会いを中心に、彼女の生涯の概略をたどってみたいと思います。



4時20分～5時 自由討論

※参加は無料ですが、事前にメールまたは葉書で下記までお申し込み下さい（講演会の後、近くのレストランで懇親会を予定していますので、懇親会参加の有無も合わせてご連絡下さい。懇親会の出欠は10月18日(木)までをお願いします）。

問い合わせ・申込み先：

人間社会システム科学研究科 村田京子 (bal@hs.osakafu-u.ac.jp)

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学